



CASIO

fx-290

S-V.P.A.M.

TWO WAY POWER

sin 63° 52' 41" $\hat{=}$
0.8978590120 $\times 10^{-01}$

SHIF^T ALPHA MODE CLR ON

x^{-1} nPr nCr Rec(: x^3

d/c $\sqrt{\quad}$ x^2 \wedge 10^x e^x

$\frac{a}{b/c}$ $\sqrt{\quad}$ x^2 \wedge 10^x e^x

A $\frac{A}{B}$ C \sin^{-1} D \cos^{-1} E \tan^{-1} F

(-) $\circ \circ \circ$ hyp sin cos tan

STO $\frac{A}{B}$ X ; Y M- M

RCL ENG () , M+

\rightarrow Conv INS OFF

7 8 9 DEL AC

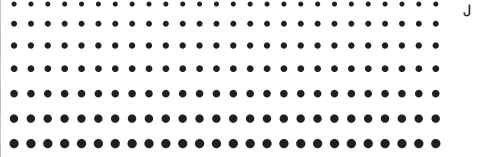
4 5 6 \times \div

S-SUM S-VAR RanInt

1 2 3 + -

Rnd Ran# π DRG $\%$

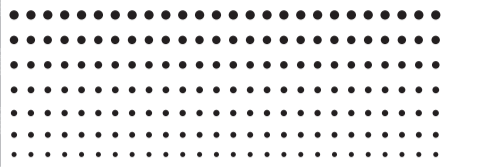
0 \cdot EXP Ans =



fx-290

取扱説明書

保証書付



ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

http://edu.casio.jp



SA0912-A Printed in China



1. 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。


注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電池について	<ul style="list-style-type: none">本機で使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。 電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり、火の中へ投入したりしないでください。 電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。 <ul style="list-style-type: none">極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
火中に投入しないでください	<ul style="list-style-type: none">本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となることがあります。

- 本書中の表示／イラストは、印刷のため実物と異なることがあります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社ではいっさいその責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。






ご使用上の注意

- 電池が消耗しますと、液晶の表示が薄くなってきます。表示が薄くなったまま使用を続けると、正常に動作しなくなることがあります。表示が薄くなってきたらすみやかきに電池を交換してください。
- また、正常に使用できても定期的(3年に1度)電池交換してください。
- 特に消耗すみの電池を放置しておきますと、液漏れをおこし故障などの原因になることがありますので、計算機内には絶対に残しておかないでください。
- 付属の電池は、工場出荷時より微量な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。
- 極端な温度条件下での使用や保管は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
- 分解しないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。

2. 計算の例題について

本書では、計算の例題を  で表します。特に計算方法の設定がない場合は、初期状態で計算します。本機を初期状態に戻すには、次の「3. 初期状態に戻すには(リセット)」をご覧ください。




3. 初期状態に戻すには(リセット)


次の操作をすると、すべてのモードやセットアップ項目の設定が初期状態にリセットされます。リプレイ履歴、変数メモリーの内容も消去されますのでご注意ください。
   (CLR)  (ALL) 














4. ハードケースの使い方








使い始めるときは、本機を裏返し、図のようにスライドさせてハードケースから取り外し、本体の背面にハードケースを取り付けます。

5. 電源のオン/オフ

電源をオンにするときは、 を押します。
電源をオフにするときは   (OFF) を押します。

オートパワーオフ(自動電源オフ)機能
操作完了後、約10分で自動的に電源オフになります。本機を再びご使用になるときは、 キーを押すと電源オンになります。

	$4 \times \sin 30 \times (30 + 10 \times 3) = 120$		
	        		$4 \times \sin 30 \times (30 + 10 \times 3) = 120.$
*1	次の乗算記号(x)は、入力を省略することができます。		
	<ul style="list-style-type: none"> の前..... $2 \times (5 + 4)$ など 前置関数の前..... $2 \times \sin 30$、$2 \times \sqrt{3}$ など メモリー、定数、乱数の前..... $2 \times A$、$2 \times \pi$、$2 \times e$ など		
*2	 の直前の閉じカッコは、入力を省略することができます。		

メモ：● 本機は計算を行うために79ステップのエリアがあります。この79ステップとは1機能1ステップで数え、数字や、、、、 キーなどは1つのキー操作で1ステップとなります。また、  のように2つのキーを操作しても、機能的に1機能のものは1ステップと数えます。● 1つの計算では79ステップまで入力できます。通常カーソルは“ ”の点滅となっていますが、73ステップ目以降の入力になると、カーソルが“ ”から“■”の点滅に変わります。もし入力をしていてカーソルが“■”になったときは、区切りの良いところで一度入力を終わらせてください。

計算の優先順位







下記の順いで計算されます。同一順位の中では左から右へ順に実行されます。カッコが使用された場合は、カッコ内が最優先されます。

1	カッコ付き関数 Pol(x, y)、Rec(r, θ)、RanInt#(a, b)
2	後置関数 x [□] 、x [□] 、x ^{−1} 、x!, ° ’ ”、x、x、x、y、角度単位変換 (DRG▶)
3	べき乗・べき乗根 x [□] 、 ^x √
4	ab/c
5	π や e (自然対数の底)、メモリー、変数の直前の掛け算省略 2π、3e、5A、πA など
6	前置関数 √、 ^x √、log、ln、e ^x 、10 ^x 、sin、cos、tan、sin ^{−1} 、cos ^{−1} 、tan ^{−1} 、sinh、cosh、tanh、sinh ^{−1} 、cosh ^{−1} 、tanh ^{−1} 、(−)
7	▶Conv
8	前置関数の直前の掛け算省略 2√3、Alog2 など
9	順列・組み合わせ nPr、nCr
10	x、÷
11	+、−

メモ：負数を引数として計算する場合、その負数にはカッコが必要です。
例：(−2)⁴ = 16　−2⁴ = −16

計算式を訂正する

不要な文字を削除するには： または  を使って不要な文字にカーソルを合わせ、 を押します。

計算式の途中で文字を挿入するには：  (INS) と押すと、カーソルが“ ”になります(インサートモード)。文字を入力するとカーソル位置に挿入されます。インサートモードを解除するには、  (INS) または  を押します。
計算式をすべてクリアするには： を押します。



11. 基本操作

分数計算

 $\frac{2}{3} + \frac{1}{2} = 1\frac{1}{6}$
      **1 1/6**


 $4 - 3\frac{1}{2} = \frac{1}{2}$
      **1/2**


メモ：● 計算式に分数と小数が混在する場合、計算結果は小数となります。● 分数の計算結果は自動的に約分された状態で表示されます。

帯分数と仮分数の間で表示を切り替えるには：  (d/c) と押します。


小数と分数の間で表示を切り替えるには： を押します。

パーセント計算


 $150 \times 20\% = 30$
     (%) **30**

 660は880の何%か？(75%)
    (%) **75**

 2500に15%加える(2875)
     (%)  **2875**

 3500の25%引き(2625)
     (%)  **2625**

 500gの試料に300gを加えると、元の試料の何%となるか？
     (%) **160** (160%)

 数値が40から46に増えたとき、何%増えたことになるか？
    (%) **15** (15%)

			
	160		
	15		





度分秒(60進数)計算

次の要領で入力します。

[度の数値]  [分の数値]  [秒の数値] 


メモ：度(または分)の数値が0の場合、必ず   を入力してください。

 $2^{\circ}20'30'' + 39^{\circ}30'' = 3^{\circ}00'00''$
         **3°0'0**

 $2^{\circ}15'18''$ を10進数に変換する。
     **2°15'18** (60進数→10進数)  **2.255** (10進数→60進数)   **2°15'18**

マルチステートメント

コロン(:)によって複数の式を区切って入力し、それを順次実行する機能です。


 $3 + 3 : 3 \times 3$
        **6**.Disp **9**.

ENG変換
計算結果を指数部が3nとなる数値で表示します。



 1234 をENG変換して表示する。
  **1234**.  **1.234x10³**  **1234.x10⁰**

計算履歴
COMPモードでは、計算を実行した式とその結果が記録されます。記録されるのは、式と答えで150バイトまでです。計算後  または  を使って計算履歴を表示します。

 $1 + 1 = 2$
    **2**.
 $2 + 2 = 4$
    **4**.
 $3 + 3 = 6$
    **6**.
 (1つ前)  **4**.
 (もう1つ前)  **2**.

メモ：計算履歴は、 を押したとき、計算モードを切り替えたとき、またはリセット操作を行ったときに、すべてクリアされます。

リプレイ機能
計算結果を表示しているとき、 または  を押すと表示中の計算式を編集できる状態になります。

 $4 \times 3 + 2.5 = 14.5$
      **14.5**
 $4 \times 3 - 7.1 = 4.9$ (続けて)        **4.9**










アンサーメモリー (Ans)

最新の計算結果は「アンサーメモリー (Ans)」に記憶されます。計算をするたびにアンサーメモリーが更新されます。

 3×4 の計算結果を30で割る。
    **12**.




(続けて)   **Ans**÷**30**
 **0.4**





 $123 + 456 = 579$
    **579**.
 $789 - 579 = 210$ (続けて)     **210**.

変数メモリー (A、B、C、D、E、F、X、Y)
変数メモリーは8個あり、数値や計算結果を自由に保存できます。すべてのメモリーを同時に使うことができます。

 変数メモリーAに3 + 5を書き込む。
    (STO)  **8**.

 A × 10 を計算する。 (続けて)     **80**.

 変数メモリーAの内容を確認する。 (続けて)   **8**.

 変数メモリーAの内容を消去する。0   (STO)  **0**.

独立メモリー (M)
独立メモリーは、主に集計計算に使うメモリーです。*Mシンボルが点灯しているときは、独立メモリーに数値が格納されています。

 Mの内容

